



広報

# イキシア



2021年1月

85号

イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やっと思いを集めるようになったこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。

## 『エッセンシャルワーク』

理事長 寺田 一郎

皆様はコロナ禍どのような新年をお迎えになったでしょうか。昨年は「鬼滅の刃」が空前の興行収入をあげているというニュースがありました。職員たちも結構映画を見に行っているようですが、映画好きの私はかえって引いてしまっているかもしれません。

ワーナーホームの各事業所では恒例の初詣や新年会に苦心しています。原稿を書いている十一月は、全国的に感染者の最多を記録していることが報じられていました。

新型コロナウイルス対策では都道府県の知事がメディアに頻繁に登場しました。自治体トップが前面に出るのは珍しいことだけに、各知事の業務執行スタイルが透けて見えて実に興味深いものがあります。

ところで、ご存知のとおり厚労省は昨年五月四日の専門家会議の提言を受けて新型コロナウイルスが長期間にわたる感染拡大するのを防止するために、(国民の)行動指針として「新しい生活様式」を公表しました。身体的距離の確保、マスク、手洗いを基本

として買い物、娯楽・スポーツ、公共交通機関、食事、イベント参加といった日常生活の各場面での実践例も示されました。買い物では、計画をたてて素早く済ませることが勧められています。スーパーでは入り口の消毒液やレジ周りの工夫などは浸透してきましたが、刺身パックを手にとつてとつかえひっかえ品定めをする人はまだまだ多いです。

ウィズコロナとは、感染を防ぎながら生活・経済を維持していこうということのようですが、ここで推奨されている生活様式のひとつが在宅勤務(リモートワーク)です。既にオフィス需要に変化が出てきたとか地方へ転居する人が出てきたというニュースもありました。但しこれはパソコンで処理できるデスクワークの話です。

リモートワークに適さない、しかし社会を維持するには不可欠な仕事があります。エッセンシャルワーカーという言葉が聞かれるようになりました。必要不可欠とか本質的という意味のエッセンシャル

と労働者というワーカーをつないだ言葉です。

医療、福祉、スーパーやコンビニなどの小売業、物流や郵便、ライフラインなどに従事する労働者を指します。農業従事者や生産工場働く人たちも加えたいところです。

福祉事業従事者も、コロナ禍で他のエッセンシャルワーカーと同様に使命感をもって働いています。医療ほど感染のリスクは高くない職場ですが、逆に利用者の感染を防ぐという任務があります。利用者は感染したら重症化し易い人たちですから、現場では緊張状態が続いています。気分転換のために同僚との飲み会や旅行も自粛ムードの中ではままなりません。

このようにソーシャルディスタンスでは解決しない課題も多い状況で、誰もが待ち望んでいるのがワクチン開発です。昨年十一月にアメリカで新型コロナウイルスの有効性に関する臨床試験結果が公表されました。暫定値ではありますが、ファイザー社では九十%超の有効性、モデルナ社

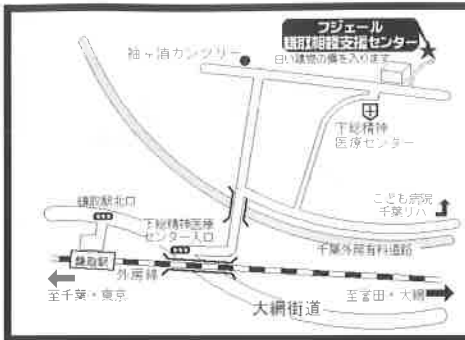
では九十四・五%の有効性が認められたということです。日本政府は両社と開発に成功した場合に供給を受ける契約を結んでいるといえます。

また、ワクチンを開発したと発表したロシアや中国を中心とする新興五カ国では協力して開発、生産、供給を進めるとの報道もありました。さらに臨床データの分析・研究でも多くは欧米発です。

これらの一連の報道に接して思うことは、日本発のニュースが少ないこと。実に寂しい。ワクチンを接種する時期についても日本では来春以降になるようです。

新型コロナウイルスに関連して日本の産業別就業者数に注目すると昨年九月の前年同月比で宿泊業・飲食サービス業は十・六%の減少、医療・福祉は二・一%の増加となっています。人材不足が続いている福祉分野へのシフトが始まっているのなら災い転じて福となすですが、量が確保されてはじめて質が担保されるのです。

それにしてもマスク製造は、中国やベトナム依存ですが、プラスの発想で不織布マスクを製造する就労継続支援事業を手掛けたと思います。初夢ならぬ正夢にしたいです。



# 千葉市 地域生活支援拠点 事業開始

十一月から、千葉市より地域生活支援拠点事業の運営を委託され、事業を開始しました。これは障害のある方の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据え、長期的ニーズの把握・分析を行い、地域で安心して暮らしていけるよう支援する事業です。千葉市内ではワーカーホーム以外に知的障害・身体障害に対応する法人がこの事業を行っており、三障害の拠点事業が揃うこととなります。具体的には鎌取相談支援センターにコーディネートーターを配置し、市内六区の基幹相談支援センターと連携して、緊急時の対応が必要な方や親元からの自立を目指す方を把握し、緊急時の対応を踏まえた計画を立てて備えます。また千葉拠点のグループホーム「フジエール」では短期入所事業を開始し、緊急時の受け入れも行います。

この事業はワーカーホームでは柏拠点で実施しており、千葉市自立支援協議会の地域生活支援拠点事業に関する作業部会でも、千葉拠点がこの事業を行えることをアピールし、今回の委託となりました。当事者・ご家族、また地域から期待されるこの事業で、しっかりと役割を務めたいと思います。(山岡)

## 短期入所(空床利用型) フジエール

フジエールでは、千葉市地域生活支援拠点事業のうち、短期入所事業を担っています。拠点事業の一環として、緊急短期入所を受け入れる体制としている点に特徴があります。空床利用型ではありますが、緊急利用に備えるため二床を確保し、少なくとも一床は空けておく運用をすることになります。対象は千葉市内にお住いの精神障害者。緊急一時的な宿泊が想定される状況は、ご家族からの虐待などご家族と離れて過ごした方が良い状況、介護者たるご家族の急病や急な外泊、ご本人の急な状態変化などその晩を一人で過ごせない状況などです。

急な夜間の利用相談や来訪も想定されます。夜勤担当職員は皆、夜間電話相談や来所時の受け入れ対応につき、各種マニュアルや書式の把握に努め、円滑で快い対応となるよう備えています。千葉市内の基幹相談支援センターや拠点コーディネートーターと連携しつつ、精神障害者の地域定着を支えるシステムのオアシスでありたいと思っています。(末永)

## 先輩職員に訊く ワーカーホーム入社から 現在までの振り返りと 職員へのメッセージ



例年は地域公開講座かつ外部講師をお招きしていた当企画。今年にはコロナへの感染対策の観点から、対象を法人職員、講師を法人施設長としメイン会場と各事業所をリモートでつなぐ形式にしました。参加者の感想は上々でした。特に法人施設長のお話を伺えたことでより身近なこととして自分を見詰める機会となりました。各施設長の困難にあっても周囲の支えを得つつ前向きに乗り切ってきたとの共通したメッセージも参加者にとっても響いたようです。コロナ禍を前向きに乗り切る以上の成果があったと思います。(末永)

**高木統括施設長**  
仕事をすることで、自分を理解し応援してくれる同期・同僚を大切にしたいです。自分一人では乗り越えられない困難なことがあった時や気持ちが悪くなる人、心の支えになつてくれる同期や同僚。そんな存在がいて、仕事に向き合い頑張れる事があると思います。ただ、自分が求めるだけでは良い関係は築けません。逆の立場にもなつて欲しいです。

**武藤施設長**  
就職した頃は、「こんな自分が雇ってもらえたことに感謝してとにかく頑張ろう」と思っていました。今は、「私自身が経験したことをたくさん後輩に伝えていきたい」という想いがあります。どんな難しいことも、たくさん悩んで、先輩や同僚と乗り越えました。仕事と子育ての両立もワーカーだからできたことです！

**上野施設長**  
二〇一〇年四月に入社して十年が経ちました。自身の様々な成長の一方で、支援に満足したことはありません。自分の傾向から、これからも満足することは無いと思っています。後輩に送るメッセージは「支援者も人間だと認識すること」「何事も考えること」です。その上で、利用者と向き合い、試行錯誤してください。



# Break Time ペジューブル柏 カフェ 1月18日 OPEN

## Sandwich Café PAISIBLE 柏市教育福祉会館内にオープンします

柏市では、市役所となりにあります教育福祉会館の耐震工事が行われています。中央公民館と福祉センターとして長年市民に愛されてきた教育福祉会館ですが、耐震化工事を契機として、官民協働検討会が設置され、その在り方や活用法について、検討されてきました。

「誰もが集える みんながつながる 地域へ広がる」をコンセプトに、世代や対象者によらない教育と福祉の充実を目指し、住民主体の地域社会の実現に向けた地域への発信を担う場としての役割が期待されています。

活動場所の提供としての役割だけでなく、学びを地域（福祉）活動の実践につなげたり、多様な活動団体を地域生活課題解決に向けて結びつけていく等、今まで十分にできなかった取り組みが実現される新しい柏スタイルの施設を目指して生まれ変わろうとしています。

そんな施設のメインフロアに、ペジューブル柏が運営するSandwich Café PAISIBLEが出店します。みなさんご存じPAISIBLEはフランス語で癒やしや憩いを意味します。社会福祉法人ワーナーホームが、様々な病気や障害を持つ方と運営するPAISIBLEがまた一つ増え、地域の人にとってなくてはならない癒やしや憩いの場が広がります。今度のPAISIBLEはサンドイッチカフェです。PAISIBLEの定番人気食パンを使ったホットサンドをメインメニューに、地元柏の焙煎珈琲茶珈香さんプロデュースの東ティモール産ブレンドやカフェラテなど、新しいメニューも全力で準備中です。どうぞお楽しみに。

2021年1月18日オープンです。お近くにお越しの際には是非お立ち寄りください。  
(大久保)



Sandwich Café PAISIBLE		M	L
Drink (Hot or Ice)			
Coffee		250	280
Tea		250	280
Café Latte		280	310
Milk Tea		280	310
Food & Set			
Hot sandwich	単品	560	780
	セット		
	Café Latte		
	Milk Tea		
	Hot sandwich (1/2)	280	510
	Today's Danish	260	490
	Café Latte		
	Milk Tea		



### 食べて応援♪ ありがとうございました。



2,403斤分 (120, 150円)

医療的ケア対応「すくすくハウス」設立プロジェクト  
に募金することができました。(2020年4~9月分)  
みなさんの温かいお気持ちに感謝いたします。  
引き続きよろしくお願ひいたします♪

**支援者数** 119名  
(延べ支援者数)

**支援金額累計** 1,943,474円  
(2020/4/1-9/30)

二〇二〇年度、新型コロナウイルス感染拡大の不安はある中でしたが、高等部卒業を迎えるすくすく子たちの成長は待つてくれない！と、医療的ケア対応「すくすくハウス」設立プロジェクトがはじまりました。お寄せいただいた、たく

## TOPICS 医療的ケア対応 「すくすくハウス」設立 プロジェクト進捗報告

皆さんの応援やご意見に感謝いたしますとともに、できることから取り組んだプロジェクトの経過をご報告いたします。

活動を始めて半年がたち、いろいろな懸念があるなかでも始めてよかったと感じています。現在、地域に一〇〇個以上のすくすく募金箱が設置され、地域の方たちがすくすくの子どもの成長を応援してくれています。これからも地域で医療的ケアとともに生きる子どもたちやご家族のことを伝え、すくすくの子どものことやご家族の暮らしのこと、子どもたちと実現したい未来のこと、たくさん対話しながらみんなで一緒にわくわくできる未来を創っていきたいと思います。

(大久保)



# 2021年 新年のご挨拶 ～3年目を迎えて～



クローワール  
草野 鋼一

二〇一八年十一月にワーナーホームへ入社し、もう三年目を迎えました。現在はクローワールのサービスマネジメント、法人内ではリーダーとして役割をいただき、日々業務に勤しんでおります。三年目の抱負として、任せられた役割を全うすること、法人内や社会人として手本となれるよう何事も根柢を持って取り組みたいと思います。



ファミーユ  
橋本 しの

入職した年は目の前の利用者のごことで頭がいっぱいでしたが、少し余裕の持った今現在は、共に働く仲間や周囲の様子にも目が向くようになりました。同じ日が一日とない、楽しく学びある毎日なのは変わらさずですが、より深み・厚みが増したと思います。利用者や職員各々が持つ「その人らしさ」を大切に働く所存です。



新ホレブ寮厨房  
三橋 邦彦

新ホレブ寮厨房に入職し今年で三年目を迎えます。現在もコロナウイルス対策で食事提供方法等において職員、利用者にご協力頂き感謝しています。この状況下で利用者からの温かい言葉に励まされ、仕事を行って来た一年でした。今年度はホレブ開所より年齢構成が変化している中で食事形態に柔軟に対応し、栄養管理に努めて行きたいと思っています。



クローワール  
山田 久美子

全くの畑違いからこの福祉業界に参入し早二年が過ぎました。支援していく中で利用者によって支援量が異なる為、その場に合った支援の見極めができるよう又、更なる向上を目指し上司、先輩と共に支え合い努めていきます。結局は身体が資本です。健康管理は勿論、体力、筋力づくりには常日頃から意識して心掛けていきます。



ホレブデイサービスセンター  
岡本 毅一

現在、コロナ対策として活動場所を分ける等、利用者・職員共に通常とは違う環境にあります。その様な中で最近、様々なメディアから「立ち向かう。」との表現が数多く発信されている様に感じます。これを社会が未曾有の厄災に対し、必ず克服するとの強い意志と捉え、私も多様化する業務に対し、臆せず、立ち向かっていく所存です。



ファミーユ  
青木 亮

今年、年男になりました。抱負はどんなことにも関心を持つことです。「いいな」と思ったら、すぐに行動し、人のいい所を吸収し仕事に活かさればと思っています。ホレブ寮では、三年目を迎えました。仕事に慣れが出てきてミスすることが多くなる時期であるため今後も気を引き締めがんばって行こうと思います。



ワーキングランシスターズ  
佐々木 芳裕

二〇二〇年は仕事においても私生活においても、とにかく今までに経験したことのないことが次々とだれれ込んで来た一年でした。二〇二一年も一体どんな事が起こるのか予想が付きませんが、何が起きても万全な状態で取り組みたい。普段からの体調管理、時間管理を徹底し、コロナに負けない生活を送ります。





あけましておめでとうござります。



だいち  
星紗耶夏

正職として三年目、夜勤アルバイトを含めて六年目になりました。三年を振り返ると先輩職員をはじめ周囲の方々に支えて頂くばかりでした。そして、昨年十月にホレブ寮からだいちへと異動となり、初めての事業所・利用者とはやく馴染めるよう日々奮闘中です。キャリアを拡げていけるように頑張ります。



鎌取相談支援センター  
矢部文一

ワーカーホームへ入職し三回目のお正月を迎えました。一年目はフジエールに配属され、二年目からは鎌取相談支援センターへ異動しましたが、相談業務をする上でフジエールの経験や今までの経験が活きてます。相談支援専門員として三年目を迎える二〇二一年もさらに知識や経験を増やし相談業務で活用していきたいと考えております。



ワークショップ茂原  
コニリアーロみゆき

入職三年目の昨年末、もばらツツジ酵母パンが新発売となりました。茂原市の町おこしに協賛した星型パンは、パーティーにもおすすすめです。仕込みから焼き上がりまで三日間。パンを焼かない日も酵母にエサを与えたり寝かせたりと世話がかかりますが、焼き上がりの香りと軽い食感がたまりません。本年も皆で協力して挑戦の年にしたと思います。



ワークショップ鎌取  
余田志津枝

今年の十月でワーカーホームに就職して三年目になります。仕事は課題や問題を一つクリア出来たと思うと新たな課題や問題が出てくる毎日で、日々経験を積んでいくことの大切さを三年目に入り痛感しています。これからもこつこつと仕事をこなしていきたいです。そのためには健康に留意し、職場の皆に迷惑をかけないよう気をつけたいと思います。



長生地域生活支援センター  
関谷洗平

私は入社してから二年半の間、長生地域生活支援センターの憩いの場で指導員を行っています。昨年は新型コロナウイルスの影響で利用者と関わる機会が減ってしまいましたが、今年は利用者に安心して楽しめる憩いの場を提供していきたいです。その為には、感染予防を徹底し、利用者との関わりを大切にしていきたいです。



たんぼほセンター  
(地域活動支援センター型)  
土居一美

人生も後半戦を迎え、やりたい事はやらなきゃ損という気持ちです。美味しいものを食べて欲しいものを買ひ、自身のスキルアップにつながるような勉強も続けていきたいです。

欲の多さを感じますが、そこが自分の原動力だと思っています。今年の仕事から少し離れて、自分の楽しみのために使える時間も増やしていきたいです。



鎌取相談支援センター  
山本祐一郎

鎌取相談支援センターの業務に就いて一年が経とうとしています。コロナウイルスの感染予防のため、業務スタイルは以前から変化していますが、その中でも利用者のニーズにしっかりと応えていけるよう精進していきます。今年から一人暮らしも始める予定なのでワークライフバランスが崩れないようにしていこうと思います。



すすすく  
齋藤美江子

二〇一九年の児童発達支援・低学年の放課後デイサービスの開所から二年が経ちました。在宅の子ども達や家族が何を求めているのか？何に困っているのか？に気づき、寄り添うことが出来るよう、自身のアンテナをさらにみがき情報収集をしていきたいです。また、子ども達や家族の良き協力者でいられるよう課題を克服しつつ努力したいと思います。



エクラス  
佐原秀真

昨年度は「自他ともに認める支援員！」と目標を立てて一年挑んでまいりました。その中で認められること、認めることの難しさに直面しましたが、皆様のフォローもあり、一年乗り切ることができました。これからも、笑顔で暮らせる生活の場を提供できるように、支援していきたいと思ひます。





新型コロナ感染対策をしながら  
行事☆プログラム  
しています!!



コロナ禍でたんぼセンターでのイベントも自粛傾向のなか、月に一度のメンバーミーティングで、利用者から「ハロウィンウィーク」という形でハロウィンを楽しめないう提案を頂きました。何かをしたい気持ちはあっても「コロナ」を前に今は我慢の時期、全体にあきらめムードが漂うなか、新鮮で嬉しい提案でした。皆さんにお知らせするポスターは、提案者でもある利用者が作りました。会場の装飾作製や飾りつけなど準備を進めていきました。職員がスイーツを提供する「たんぼカフェ」プログラムも、ハロウィンウィークは「かぼちゃプリン」と「かぼちゃのマフ

わーなー日誌

《たんぼセンター(地括)》



イン」でハロウィン仕様にて、仮装歓迎にしたところ、ダースベイダーやアラブの富豪、長靴下のピッピや魔女も登場して、場の盛り上げに一役買ってもらいました。職員も全身コスプレで臨み、利用者と一緒にハロウィンを満喫しました。

コロナ感染対策ばかりに目が向きがちで「コロナだからできない」という思考パターンに陥りがちだった自分に、「できない」ではなく「どうしたらできるか」という発想の転換に気づかせてもらったイベントとなりました。これからも利用者と共に作りあげる地域活動支援センターでありたいと思います。(土居)

# ワーナーホーム ワーキング パパ

## ～ 目指せイクメン ～



長生地域  
生活支援センター  
リーダー 相談支援専門員  
斉藤 恵太

### ● ● とある1日の流れ ● ●

6:00	起床・身支度
7:00	ゴミ出し・洗濯物を干す・玩具の消毒
	娘と教育テレビを観ながら朝食の準備
	家族で朝食
	皿洗い
8:20	出発
9:00	始業
18:00	終業
18:30	帰宅
	夕食
	娘と遊ぶ(～寝かしつける21:00頃まで)
21:00	入浴
22:00	妻と録り溜めたドラマを視聴
	スマホでゲームしたり、動画や漫画を視聴
0:00	就寝

「はなかつぱ」が  
お気に入り☆

動物園!  
ライオンといっしょ



プール  
はじめたよ!



今年で三十一歳、入社九年目を迎えました。二〇一五年三月に精神保健福祉士を取得し、現在は相談支援専門員として勤務しています。我ながら、仕事一筋だったなあと思います。ところで、皆さんは「わが子と生涯で一緒に過ごす時間」について取り上げた某テレビ番組をご存じでしょうか。その番組によると、母親は約七年六ヶ月、父親は約三年四ヶ月しかないそうです。とても短いですね！

コロナの時代に突入した今だからこそ、これからの働き方、そして家族との過ごし方を見直す転換期なのだと思います。今この瞬間を大切に、メリハリを持って生活していきたいです。

二〇一八年夏に入籍し、二〇二〇年二月に長女が誕生しました。産前産後、たくさんの方からお祝いの言葉や品をいただき、とてもありがたく、助かりました。産まれるまでは内心、「もし、元気に産まれなかつたらどうしよう」とナーバスになり、素直に喜べない時期がありました。元気が産声を上げる娘を初めて抱いた時の感動は一生忘れることができないと思います。産んでくれ、育ててくれてる妻には本当に感謝しています。

ワーナーホームの主な動き

《九月》

- ・花火会／エククラス
- ・秋レク／ワークショップしらさと
- ・ピアサポート活動／長生プリオ
- ・令和二年度中小企業における障害者支援担当者に対する支援／長生プリオ（茂原市東部台文化会館）
- ・山武プリオ交流会／山武プリオ



《十月》

- ・秋レク／ホレブ寮・クロワール・ファミーユ
- ・秋レク／ワークショップおおあみ（袖ヶ浦海浜公園）
- ・秋レク／だいち



- ・BBQ／千葉拠点（リモート）
- ・ハロウィンウィーク（十九、二十、二十一日）／地域活動支援センターたんぼぼセンター
- ・在職者交流会（ZOOM講座）／長生プリオ
- ・BBQ・ビンゴ／ぶらり



《十一月》

- ・長生郡市総合支援協議会
- ・第二回就労作業部会／長生

- ・プリオ（茂原市役所）
- ・二〇二〇年度中小企業における障害者支援担当者に対する支援（山武圏域自立支援協議会第三回就労部会地域意見交換会）／山武プリオ（東金市保健福祉センター）
- ・十二月度ピアサポート活動／山武プリオ



《十二月》

- ・ピアサポート活動／長生プリオ
- ・山武プリオ交流会／山武プリオ
- ・クリスマス会／エククラス
- ・クリスマス会／ワークショップしらさと
- ・クリスマス会／ホレブデイサービスセンター
- ・クリスマス会／千葉拠点（リモート）
- ・クリスマス会／ぶらり
- ・クリスマス会／ワークショップ茂原

イキシア入会のお願い

イキシア会は利用者とそのご家族及び一般有志からなるワーナーホームの支援団体です。活動においてご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜ります様宜しくお願い致します。

広報イキシアは年三回（一月・五月・九月）発行されます。

《会費》

- 賛助会員 三,〇〇〇円（年）
- 正会員 一〇,〇〇〇円（年）

編集後記

皆さま、新年明けましておめでとつございます。

一昨年は台風、昨年は新型コロナウイルス感染症と大変な出来事があり、心と体が疲れることが続いています。少しでも私たちが、皆さんの「いつも通り」になっていくよう信じ気持ちを切り替えて新年を過ごしていきましょう。健康には気を付けながら…それでは、今年の「イキシア」もご愛読いただける様、頑張っていきますので宜しくお願い致します。

(A)



発行所 **ワーナーホーム  
イキシア会**

千葉県大網白里市細草3215

電話 0475-77-2100(代)

URL <http://www.wanahome.or.jp>

発行人 寺田 一郎